

大 会 宣 言 文

全国連合小学校長会は、結成以来七十七年に渡り、我が国の小学校教育の充実・発展のため、真摯に研究と実践を重ね、着実にその成果を上げてきた。

第七十二回大会からは、大会主題を「自ら未来を拓きともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」とし、各大会の特色を生かしながら、その実現に向け、組織をあげて実践的に研究を進めてきた。

子どもたちを取り巻くこれからの社会は、少子高齢化、グローバル情勢の混迷、気候変動に伴う自然災害の激甚化、生成AI等デジタル技術の発展等といった大きな変化があいまって、社会や経済の先行きに対する不確実性がより高まっている。また、不登校児童や特別支援教育の対象となる児童、外国人児童等、教育的支援を要する子どもが増加しており、子どもたちが抱える様々な課題が複雑化・困難化するとともに、過疎化や情報化など家庭や地域をめぐる状況も大きく変化している。

このような社会の変化や子どものも多様化において教育の果たす役割が再認識された。子どもたちが今後とも未来社会を豊かに健やかに生き抜くことができるようにするため、一人一人が自分のよさや可能性を認識し、多様な人々と協働しながら、様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる力を身に付けられるようにすることが求められている。

今大会は、他者のため、社会のためにという意識に基づく主体的、創造的な働きかけを「志」と定義し、世界を視野に未来を見据えて次代を担う宝としての子どもの捉えである「人財」の育成を目指し、研究副主題「志をもち多様な他者と協働しながら次代を創る人財を育む学校経営の推進」を設定した。私たち校長は、社会の変化を見極め、将来の展望を明確にもち、小学校教育の更なる発展に全力を注ぎ、国民の期待に応えようとするものである。

ここに、第七十七回全国連合小学校長会研究協議会の総意に基づき、次の決意を表明しその実現を期する。

記

- 一 自ら未来を拓きともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進
- 一 志をもち多様な他者と協働しながら次代を創る人財を育む学校経営の推進
- 一 「生きる力」の育成を目指す創意工夫ある教育課程の編成・実施・評価・改善
- 一 道徳教育を中核とし、自他の命の尊厳や人権感覚の醸成を重視した教育の充実
- 一 主体的に判断・行動し、命を守る子どもを育成する防災教育の推進
- 一 学校の自主性・自律性の確立と家庭・地域等との連携・協働による教育活動の充実
- 一 安全で安心できる教育環境づくりと共生社会の実現に向けた教育の充実
- 一 校長自らの研鑽と、教職員の資質・能力の向上を図る現職教育の充実
- 一 教育の質を向上させるための「学校における働き方改革」の実現

右、宣言する。

令和七年十月十七日

第七十七回全国連合小学校長会研究協議会福岡大会